



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2060 URL <http://www.feed-one.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山内 孝史
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部財務経理部長 (氏名) 梅村 芳正 (TEL) 045-311-2300
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	103,348	△0.7	2,009	△23.5	2,386	△5.9	1,504	△20.8
29年3月期第2四半期	104,034	△10.2	2,625	21.0	2,534	6.6	1,900	1.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,953百万円(0.5%) 29年3月期第2四半期 1,943百万円(10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	7.64	—
29年3月期第2四半期	9.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	82,581	31,930	38.1
29年3月期	79,904	30,968	38.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 31,498百万円 29年3月期 30,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	4.50	4.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.50	4.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,200	4.5	4,800	△0.6	5,200	1.3	3,600	△8.6	18.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	197,385,640株	29年3月期	197,385,640株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	332,235株	29年3月期	331,511株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	197,053,792株	29年3月期2Q	197,055,589株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)のわが国経済は、好調な企業業績を背景に設備投資も増加基調となり、個人消費も緩やかながら改善傾向が見受けられます。また、日経平均株価も好調な米国の株式市場の影響を受け2万円台を回復し、その後も底堅く推移しております。

飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこし価格は7月には主産地の米国における高温乾燥の天候予想から値を上げましたが、受粉期の天候回復により8月に大きく値を下げ、9月にかけては安定的に推移しております。一方、大豆粕は天候の影響を受け乱高下しながら推移しました。

畜産物につきましては、豚肉相場は夏場にかけて値を上げ高値傾向を継続しております。また、鶏卵相場は前年同期並み、牛肉相場は前年同期と比較し値を下げて推移しました。

こうした環境にあって、当社グループは、原料調達・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質・サービスの向上、コスト低減などに取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,033億4千8百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は20億9百万円(前年同期比23.5%減)、経常利益は23億8千6百万円(前年同期比5.9%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億4百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

飼料事業

飼料事業では、畜産飼料につきましては販売数量の拡大に努めたものの、水産飼料の販売価格の低下及び原料価格等のコスト負担が増加したこと等により当第2四半期連結累計期間の売上高は749億円(前年同期比0.0%増)となり、営業利益は26億2千1百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

食品事業

食品事業では、畜産物相場が高値傾向を継続しておりますものの、一部商品の商流変更に伴う畜産物の取扱数量減少等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は270億6千8百万円(前年同期比2.2%減)となり、営業利益は3億8千1百万円(前年同期比19.2%減)となりました。

その他

特約店、畜産・水産生産者への畜水産機材等の販売により、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億7千8百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益は1億7千3百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったことから受取手形及び売掛金並びに支払手形及び買掛金がそれぞれ増加したこと等により資産合計は825億8千1百万円（前期末比3.4%増）となり、負債合計は506億5千万円（前期末比3.5%増）となりました。

純資産合計はその他有価証券評価差額金の増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により319億3千万円（前期末比3.1%増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の期末残高は23億5千万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上等により、70億3千万円の収入（前年同期は73億9千4百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得等により、27億1千6百万円の支出（前年同期は11億4千6百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期・短期の借入金の返済等により、42億9千6百万円の支出（前年同期は80億7百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想及び配当予想につきましては、平成29年5月11日に公表致しました業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,392	2,411
受取手形及び売掛金	31,581	34,461
電子記録債権	1,031	1,267
商品及び製品	1,560	1,732
原材料及び貯蔵品	7,753	7,213
動物	574	588
繰延税金資産	734	413
その他	1,995	2,142
貸倒引当金	△189	△116
流動資産合計	47,434	50,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,532	7,356
機械装置及び運搬具（純額）	7,013	6,860
土地	6,836	6,625
リース資産（純額）	176	160
建設仮勘定	180	406
その他（純額）	727	684
有形固定資産合計	22,467	22,093
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	296	264
無形固定資産合計	298	265
投資その他の資産		
投資有価証券	8,103	8,652
長期貸付金	571	511
破産更生債権等	1,196	1,162
繰延税金資産	177	116
その他	698	683
貸倒引当金	△1,043	△1,018
投資その他の資産合計	9,704	10,107
固定資産合計	32,469	32,466
資産合計	79,904	82,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,416	26,656
短期借入金	11,866	9,700
リース債務	55	54
未払法人税等	590	413
賞与引当金	756	787
その他	6,772	5,731
流動負債合計	40,458	43,343
固定負債		
長期借入金	6,258	4,862
リース債務	133	116
繰延税金負債	88	290
役員退職慰労引当金	38	42
環境対策引当金	29	27
退職給付に係る負債	1,854	1,900
資産除去債務	44	42
持分法適用に伴う負債	1	—
その他	28	23
固定負債合計	8,477	7,306
負債合計	48,935	50,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	10,481	10,481
利益剰余金	9,438	9,985
自己株式	△37	△38
株主資本合計	29,882	30,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	844	1,163
繰延ヘッジ損益	△13	53
為替換算調整勘定	△9	△46
退職給付に係る調整累計額	△122	△100
その他の包括利益累計額合計	699	1,069
非支配株主持分	386	431
純資産合計	30,968	31,930
負債純資産合計	79,904	82,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	104,034	103,348
売上原価	91,401	91,414
売上総利益	12,632	11,933
販売費及び一般管理費	10,007	9,924
営業利益	2,625	2,009
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	94	98
持分法による投資利益	—	144
その他	249	241
営業外収益合計	352	492
営業外費用		
支払利息	110	74
持分法による投資損失	268	—
その他	65	41
営業外費用合計	443	115
経常利益	2,534	2,386
特別利益		
固定資産売却益	641	36
事業譲渡益	5	—
特別利益合計	646	36
特別損失		
固定資産売却損	13	15
固定資産除却損	10	48
減損損失	160	28
子会社株式売却損	—	49
子会社整理損	44	—
厚生年金基金解散損失	18	—
特別損失合計	246	141
税金等調整前四半期純利益	2,934	2,280
法人税、住民税及び事業税	521	327
法人税等調整額	468	402
法人税等合計	990	730
四半期純利益	1,944	1,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,900	1,504

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,944	1,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	317
繰延ヘッジ損益	30	66
退職給付に係る調整額	22	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△90	△3
その他の包括利益合計	△0	402
四半期包括利益	1,943	1,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,899	1,907
非支配株主に係る四半期包括利益	43	45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,934	2,280
減価償却費	889	1,230
減損損失	160	28
のれん償却額	1	1
持分法による投資損益(△は益)	268	△144
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41	△98
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	33
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	104	77
受取利息及び受取配当金	△103	△106
支払利息	110	74
子会社株式売却損益(△は益)	—	49
固定資産除売却損益(△は益)	△617	27
事業譲渡損益(△は益)	△5	—
売上債権の増減額(△は増加)	987	△3,189
たな卸資産の増減額(△は増加)	338	343
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	3
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△2
仕入債務の増減額(△は減少)	1,041	6,279
その他	1,590	602
小計	7,661	7,490
法人税等の支払額	△266	△460
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,394	7,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△743	△2,812
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,524	70
資産除去債務の履行による支出	—	△1
投資有価証券の取得による支出	△26	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△51
貸付けによる支出	△66	△132
貸付金の回収による収入	108	111
事業譲渡による収入	255	—
利息及び配当金の受取額	105	115
その他	△10	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,146	△2,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,340	△885
長期借入れによる収入	847	70
長期借入金の返済による支出	△3,583	△2,486
利息の支払額	△107	△73
配当金の支払額	△788	△886
リース債務の返済による支出	△34	△34
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,007	△4,296
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	533	17
現金及び現金同等物の期首残高	1,819	2,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,353	2,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	74,888	27,670	102,558	1,475	104,034	—	104,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,004	2	1,006	197	1,204	△1,204	—
計	75,893	27,672	103,565	1,673	105,239	△1,204	104,034
セグメント利益	3,096	472	3,568	176	3,745	△1,119	2,625

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,119百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,122百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飼料事業」セグメントにおいて、一部の研究所機能の集約による資産の用途変更に伴う時価の見直し及び連結子会社における遊休地の時価の下落による減少額144百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、報告セグメントに配分されない減損損失は、15百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	74,900	27,068	101,969	1,378	103,348	—	103,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	744	2	746	191	938	△938	—
計	75,644	27,071	102,715	1,570	104,286	△938	103,348
セグメント利益	2,621	381	3,003	173	3,176	△1,166	2,009

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,166百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,171百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない減損損失は、28百万円であります。